
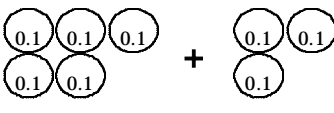
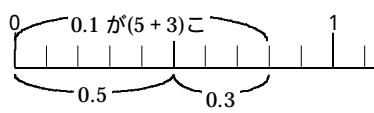


4. 本時について (5 / 9)

- (1) ねらい：純小数の加法の仕方を考える活動を通して，単位小数のいくつ分で考えれば一位数の整数の加法に帰着できることに気づき，計算方法を理解し正しく計算することができる。
- (2) 本時の展開例

段階	ねらい	主な学習活動	指導・援助
つかむ	問題の意味が分かり，既習内容との違いから本時の課題をもつことができる。	<p><問題> ジュースが 0.5 入っているパックと，0.3 入っているパックがあります。合わせると，何になるでしょう。</p> <p>1 問題場面を把握し，学習課題をつくる。 ・分かることは，ジュースが 0.5 入っているパックと，0.3 入っているパックがあることです。 ・聞いていることは，合わせると何になるかです。 ・「合わせると」とあるから，今日はたし算です。 ・式は，$0.5 + 0.3$ になります。 ・前までは小数のしくみを学習してきたけど，今日は，小数のたし算になっています。</p> <p>《課題》 小数のたし算の仕方を考えよう。</p>	小数の加法になっていることをはっきりさせ，それまで学習してきた小数のしくみが利用できそうだという見通しをもたせる。
考えをもつ	$0.5 + 0.3$ の計算の仕方を考えることができる。	<p>2 個人追究で，自分の考えをもつ。</p> <p>・リットル図を使って考える。  0.1 が 5 こ 0.1 が 3 こ 0.1 が $(5 + 3)$ こ</p> <p>・数図を使って考える。  0.1 が 5 こ 0.1 が 3 こ 全部で 0.1 が $(5 + 3)$ こ</p> <p>・数直線を使って考える。  0.1 が 5 こ 0.1 が 3 こ</p>	見通しのもてない児童を前に集め， 0.5 や 0.3 が 0.1 のいくつ分になっているか確認し，その考えで加法ができないかと助言する。 1つの方法で止まっている子には，「他の方法はない？」と問いかけ，様々な観点で考えられるようにする。複数の方法で考えられている子には，「どれにも共通なことはない？」とか「前と共通なことはない？」と問いかけ，共通点を見つけられるようにする。
見付ける	交流活動や全体追究で考えを出し合い，小数のたし算の計算の仕方を理解することができる。	<p>3 考えをもてた児童は，仲間と考えを交流する。</p> <p>4 全体追究で考えを深める。 ・どの方法も，0.1 のいくつ分の考えを使って計算しているのは共通している。 ・0.1 のいくつ分で考えて，整数として計算 ($5 + 3$) しているのは，共通している。</p>	リットル図や数図の共通点を考えさせることにより， 0.1 のいくつ分で考えればよいことに気付かせる。
確かにする	考えをまとめ，その考えを使って小数のたし算の計算をすることができる。	<p>5 小数の加法の方法をまとめる。 小数のたし算は，0.1 のいくつ分で考えれば，整数のたし算と同じように計算できる。</p> <p>6 活用問題に取り組む。 ・ $0.5 + 0.8$ $0.4 + 0.6$ $0.2 + 0.6$ ・ $0.7 + 0.8$ $0.9 + 0.3$ $0.5 + 0.5$</p>	多くの考え方のできた子や「深めるまど」を用いて考えを深められた子を価値付ける。